

くるくる回る“ローリング・リング”をつくろう

青森・野呂茂樹

軸に通したリングがくるくと回りながら落下していきます。

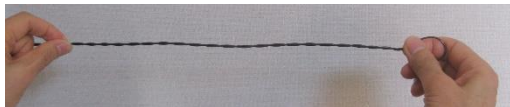


【つくりなど】

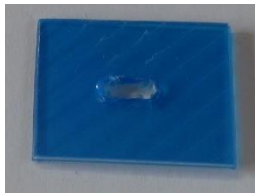
(軸と回転板)

① 長さ 60~100cm ほどの針金を2つに折って、一端を固定し他端を30~50回ほどねじって軸をつくります。

(1mmφの自在アルミワイヤですと、こどもでも両端を手を持ってひねることができます)。



② 1×1.5cm 程度のプラ板に軸を通す穴をあけます。穴の大きさは、針金の直径×直径の2倍)程度で、ねじった針金に通したときくるくとまわって落ちる大きさにします。



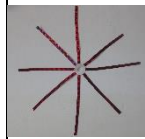
(回転リング)

① メタリックテープやホログラムシート/折り紙からつくります。

② シートなどは、カッターやはさみで細く切ることができますが、シュレツダも利用できます。

③ 作例 A

幅 5mm 程度のテープ数本、をとじ穴補修シールに貼り付け、球形にします。



④ 作例 B

幅 1cm 程度のテープを輪にし、パンチで2ヶ所穴をあけます。



* 端は安全のため折り曲げたり、テープを巻いたり、チューブを被せましょう。

【あそび方など】

リングを通した軸を垂直に持つと、リングがくるくと回転しながら落下します。下まで落ちたら、上下を逆さにします。



* 動画

<http://youtu.be/vr-jGTgZwKc>

【参考文献】

・多田千尋著「動くおもちゃ工作」(池田書店)